



春日っ子通信

春日小学校・校長室だより

文責 校長 丸山 晴幹



さすが、6年生！

「何か他にすることは、ありませんか？」

入学式前日の準備で、ある6年生が言った言葉です。準備は時間より早く終了することができ、6年生の自ら考えて動いた結果であると思っています。その頑張りが、よく伝わりました。頼もしいかぎりです。準備は、予定より早く終わることができました。

きっと学校全体を引っ張りながら、素敵な6年生になってくれると思っています。

12日(水) 第116回目の入学式！102名の入学

期待に胸を膨らませ、102名の新1年生が入学しました。前日の雨で当日の天気を心配しましたが、気持ちの良い晴天に恵まれました。

私の祝辞では、のび太君のペープサートを使い、学校で困ること（勉強、給食、早起き等）を紹介しました。その後、分からないことは、先生や他の学年（特に、6年生）に聞けば、不安がなくなることを伝えました。

私は、分からないことを伝える、困ったときには、誰かに話すといった行為が大切になると考えています。分からないことを分からないと言えること、そのことが、子どもの自立につながるのです。

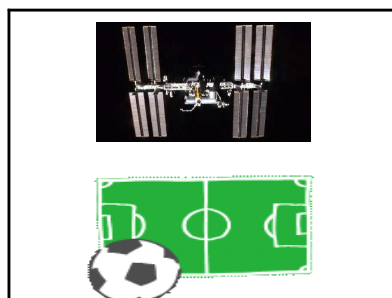
新1年生が早く新しい環境に慣れ、元気に、明るく成長していってくれることを望んでいます。

始業式、「おまけの話」より

今年も、全校朝会等で「宇宙・星」の話をします。第1回目は、国際宇宙ステーション（ISS）です。大きさは、サッカーコートと同じ広さ、約90分で地球を1周します。その起動上に日本があると、光の筋が異動するのが、肉眼で分かります。

ちなみに、今日14日の夜、7時58分から8時2分、約3分間、西の空から東へ動きます。探してみてください。

※実際のスピードを子どもたちにはレーザーの光で示しています。



<サッカーコートとの比較>

<寸詞>

雨の日のある朝、いつものハイタッチ！

私 「おはようございます。」※いつものように、手を出すと、
5年生女兒 「校長先生、手が濡れています。ごめんなさい。」
※何と気持ちが優しい子でしょう。

